

タグボートを利用して住民に洗濯場を提供する

新丸菱海運株式会社

1 活動を始めた経過

地震により、壊滅的打撃を受けた神戸港において、当面は貨物船等の入港が皆無のためにタグボートの業務が激減した。そこで「船を遊ばせておくより、何か被災地の住民の役に立てることをしてみてもどうか。」という社長の提案があった。全員で検討した結果、ライフラインである神戸市の水道がストップしたままで、日常生活に不自由しているポートアイランドの住民に衣類等の洗濯の場を提供することに決定し、活動を開始した。

2 活動の内容

同社所有のタグボート「北星丸」に既存の洗濯機4台と新規に購入した洗濯機2台の合計6台を積載し、ポートアイランドの北公園東のタグボート基地に係留させ、午前11時から午後4時30分までの間、船員が30名でその作業に従事した。水は付近の港湾局給水センターから1日約20トンを供給してもらったが、量が僅かであったため1日に40～50人が限度であった。また、不足分は大阪港で随時補給した。利用者の数については地元自治会と協議し、整理券を発行する制度を採用して1日に約50人程度に限定した。

なお、ポートアイランドの水道の復旧とともに活動は終了した。

3 活動した期間

開 始 平成7年1月23日(月)

終 了 平成7年2月15日(水)

4 活動上の苦勞

- (1) 活動が長期にわたって行われたために、乗組員の疲労が蓄積した。
- (2) 洗濯後の汚水がそのまま海に流れ込むために粉セッケンを準備し、住民が持参した家庭用の洗剤を使用しないように指導した。